統合

2つ以上のテーブルのレコードを、1つの新しいテーブルにまとめる

◇機能

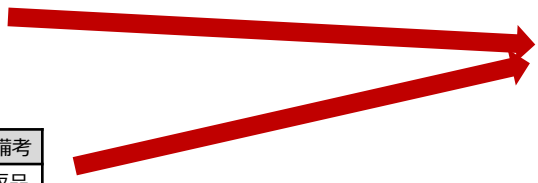
《統合》は、2つ以上のテーブルのレコードを、選択した順につなげて1つの新しいテーブルを作成する機能です。フィールドはフィールド名でそろえられ、同じ名前のフィールドは1つの列にまとめられます。どれかのテーブルにしかないフィールドも、結果のテーブルに追加されます。

テーブル1（売上_上期）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3

テーブル2（売上_下期）

売上日	商品No	数量	備考
2024/10/05	A01	2	返品
2024/11/18	C03	5	



統合したテーブル

売上日	商品No	数量	備考
2024/04/10	A01	4	
2024/05/20	B02	3	
2024/10/05	A01	2	返品
2024/11/18	C03	5	

※レコードは、選択したテーブルの順に、各テーブルの元の並び順のままつなげられます。
※フィールドの並び順は、1つ目のテーブルの順になり、ほかのテーブルにしかないフィールドはその後ろに追加されます。
※あるテーブルにないフィールドの値は、文字型は空欄、数値型は「0」、日付型は「1900/01/01」になります。
※フィールド名の大文字・小文字は区別されます（「NAME」と「name」は別のフィールドになります）。

◇メニュー

《加工》-《統合》

※プロジェクトにテーブルがない場合は、《統合》ボタンは使用できません。
※操作ログから統合のコマンドを修正することもできます（「■ 操作ログからコマンドを修正する場合」参照）。

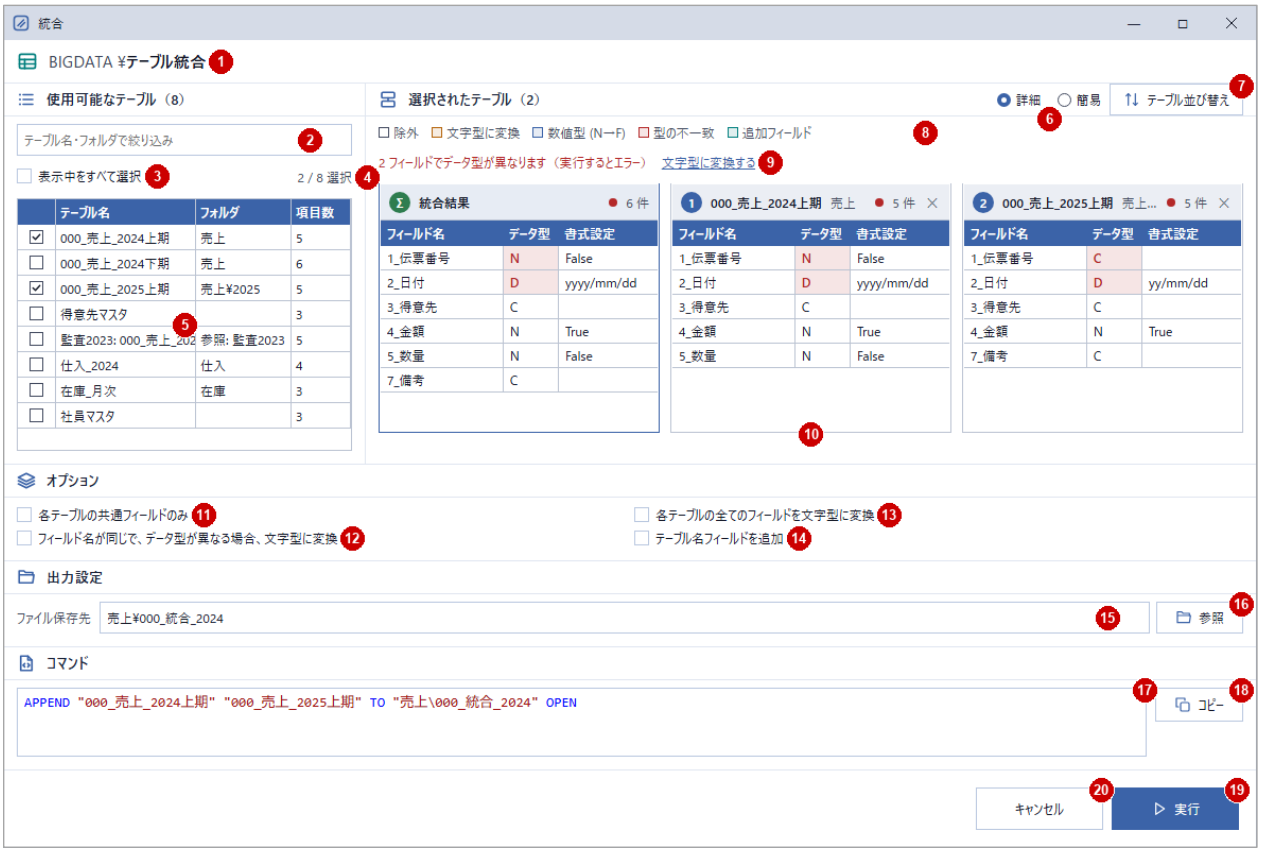
■ 操作ログからコマンドを修正する場合

操作ログで統合のコマンドを修正すると、コマンドの内容が設定された状態で画面が開きます。

※コマンドのテーブルが、コマンドに記述された順に選択されます（参照プロジェクトのテーブルも含みます）。
※オプション（「◇設定内容」の11～14）は、コマンドに記述されているものがオンになります。
※保存先には、「04_table」フォルダからの「フォルダ名¥テーブル名」が表示されます。
※コマンドのテーブルがプロジェクトにない場合（削除された場合など）は、メッセージが表示され、画面は開きません。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

◇設定内容



1. 画面のタイトル　：プロジェクト名と「テーブル統合」が表示されます。

2. テーブル名・フォルダで絞り込み　：入力した文字をテーブル名またはフォルダ名に含むテーブルだけを表示します。選択の状態は変わりません。

3. 表示中をすべて選択　：オンにすると、一覧に表示されているテーブルをすべて選択します。オフにすると選択を解除します。

4. 選択数　：選択したテーブルの数と、テーブルの総数が表示されます。

5. 使用可能なテーブル（必須）　：統合するテーブルをクリックして選択します（2つ以上）。
   - 選択した順に、右側の「選択されたテーブル」に追加されます。この順でレコードがつなげられます。
   - もう一度クリックすると選択を解除します（Ctrl+Aですべて選択）。
   - 参照プロジェクトのテーブルも選択できます。

6. 詳細／簡易　：選択したテーブルの表示方法を切り替えます。「詳細」はフィールドの一覧付きのカード、「簡易」は1テーブル1行で表示します。
   - 30を超えるテーブルを選択すると、自動で「簡易」になります。

7. 《テーブル並び替え》ボタン　：「テーブル並び替え」画面を開き、統合する順序を変更できます（「■ テーブルの並び替え」参照）。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

8. 色の説明 ：統合したときにフィールドがどうなるかを示す、カードの色の意味です。
   - 「除外」（灰色・取り消し線）：「各テーブルの共通フィールドのみ」がオンのとき、すべてのテーブルにはないため統合されないフィールドです。
   - 「文字型に変換」（橙色）：12または13がオンのとき、文字型に変換されて統合されるフィールドです。
   - 「数値型 (N→F)」（青色）：整数型と10進数型が混在するため、10進数型にそろえて統合されるフィールドです。
   - 「型の不一致」（赤色）：ほかのテーブルとデータ型または日付の書式が異なるフィールドです。このままでは統合できません。
   - 「追加フィールド」（青緑色）：14がオンのとき、統合時に追加される「ソーステーブル」フィールドです。

9. データ型の警告 ：同じ名前でデータ型や書式が異なるフィールドがある場合に表示されます。「文字型に変換する」をクリックすると、12がオンになります。

10. 選択されたテーブル ：先頭の「統合結果」カードに統合後のフィールドが、続いて選択したテーブルが統合する順に表示されます。
   - 各カードには、統合する順の番号、テーブル名、フォルダ、フィールド数と、フィールドの一覧（フィールド名・データ型・書式設定）が表示されます。
   - データ型や書式がほかのテーブルと異なるフィールドがあるテーブルには、赤い点が表示されます。
   - 「統合結果」カードは2つ以上選択すると表示されます。移動や選択の解除はできません。
   - カードの見出しをドラッグすると、順序を変更できます（Ctrl+↑／↓でも変更できます）。
   - 「×」（またはDeleteキー）で、選択を解除します。後ろのテーブルの番号が繰り上がります。

11. 各テーブルの共通フィールドのみ ：オンにすると、すべてのテーブルにあるフィールドだけを統合します。

12. フィールド名が同じで、データ型が異なる場合、文字型に変換
   ：オンにすると、同じ名前でデータ型（または日付の書式）が異なるフィールドを文字型に変換して統合します。

13. 各テーブルの全てのフィールドを文字型に変換
   ：オンにすると、すべてのフィールドを文字型に変換して統合します。

14. テーブル名フィールドを追加 ：オンにすると、先頭に「ソーステーブル」フィールドを追加し、各レコードの元のテーブル名を入れます。

15. ファイル保存先（必須） ：統合したテーブルの名前を入力します。
   - テーブル名だけの場合は「04_table」フォルダに、「フォルダ名¥テーブル名」の場合はそのフォルダに作成されます。フォルダがない場合は作成されます。
   - 拡張子（.hdf5）は省略できます。「04_table」フォルダ以外の場所には保存できません。
   - テーブル名の長さは、64文字までです。
   - 記号（「-」「.」「＃」など）や全角スペースは使用できません。名前の最後に「¥」「/」、途中に「..」は入力できません。
   - 選択したテーブルと同じ名前は使用できません（大文字・小文字やフォルダが違っても同じ名前とみなされます）。
   - 同じ名前のテーブルがすでにある場合は、上書きしてよいかの確認メッセージが表示されます。「いいえ」を選択すると、実行せずに画面に戻ります。

16. 《参照》ボタン ：保存画面を開き、保存先を選択できます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

17. コマンド　：現在の設定で実行されるコマンドが表示されます（「◇操作ログ」参照）。テーブルを2つ以上選択し、保存先を入力すると表示されます。

18. 《コピー》ボタン　：コマンドをクリップボードにコピーします。

19. 《実行》ボタン　：実行します（Enterキー）。テーブルが作成されると、画面が閉じ、作成したテーブルが開きます。

20. 《キャンセル》ボタン　：実行せずに画面を閉じます（Escキー）。確認メッセージで「はい」を選択すると閉じます。

■「簡易」で表示した場合

「簡易」を選択すると、選択したテーブルが1テーブル1行で表示されます。多くのテーブルを統合する場合に、順序の確認や並び替えがしやすくなります。



※各行には、統合する順の番号、テーブル名、フォルダ、フィールド数、「×」が表示されます。行のドラッグ、「×」、Deleteキー、Ctrl+↑／↓の操作は「詳細」と同じです。

※30を超えるテーブルを選択すると、自動で「簡易」になります。「詳細」に戻したあとは、自動では切り替わりません。

■ テーブルの並び替え

《テーブル並び替え》ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

21. 統合する順序　：選択したテーブルが統合する順に表示されます。移動するテーブルをクリックして選択します。
22. 《先頭へ》ボタン　：選択したテーブルを先頭に移動します。
23. 《上へ》ボタン　：選択したテーブルを1つ上に移動します。
24. 《下へ》ボタン　：選択したテーブルを1つ下に移動します。
25. 《末尾へ》ボタン　：選択したテーブルを末尾に移動します。
26. 《OK》ボタン　：並び替えた順序を確定して、画面を閉じます。

◇統合の結果

オプションの設定によって、統合したテーブルのフィールドは次のようになります。例は「◇機能」と同じ2つのテーブルです。

■「各テーブルの共通フィールドのみ」をオンにした場合

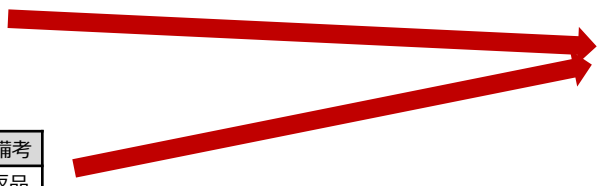
すべてのテーブルにあるフィールドだけが残ります。テーブル1にない「備考」は統合されません。

テーブル1（売上_上期）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3

テーブル2（売上_下期）

売上日	商品No	数量	備考
2024/10/05	A01	2	返品
2024/11/18	C03	5	



統合したテーブル

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3
2024/10/05	A01	2
2024/11/18	C03	5

※すべてのテーブルにあるフィールドが1つもない場合は、実行時にメッセージが表示され、統合できません。

■「テーブル名フィールドを追加」をオンにした場合

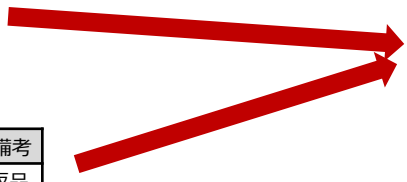
先頭に「ソーステーブル」フィールド（文字型）が追加され、各レコードの元のテーブル名が入ります。

テーブル1（売上_上期）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3

テーブル2（売上_下期）

売上日	商品No	数量	備考
2024/10/05	A01	2	返品
2024/11/18	C03	5	



統合したテーブル

ソーステーブル	売上日	商品No	数量	備考
売上_上期	2024/04/10	A01	4	
売上_上期	2024/05/20	B02	3	
売上_下期	2024/10/05	A01	2	返品
売上_下期	2024/11/18	C03	5	

※テーブルに「ソーステーブル」という名前のフィールドがすでにある場合、そのフィールドは「ソーステーブル1」に名前が変わります。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ データ型が異なるフィールドがある場合

同じ名前のフィールドでも、データ型によって次のように統合されます。

※整数型と10進数型（例：数量が「4」と「2.5」）は、数値型のまま統合されます。

※数値型と文字型のようにデータ型が異なる場合（例：数量が「4」と「2個」）や、日付の書式が異なる場合は、そのままでは統合できません。

※その場合、実行すると「統合できません」画面が表示されます（「◇入力内容に誤りがある場合」参照）。

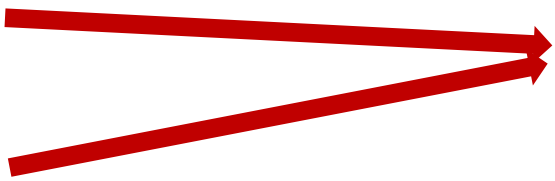
「フィールド名が同じで、データ型が異なる場合、文字型に変換」をオンにすると、データ型が異なるフィールドだけが文字型になり、統合できます。

テーブル1（数量は数値型）

売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3

テーブル2（数量は文字型）

売上日	商品No	数量
2024/10/05	A01	2個
2024/11/18	C03	5個



統合したテーブル（数量は文字型）

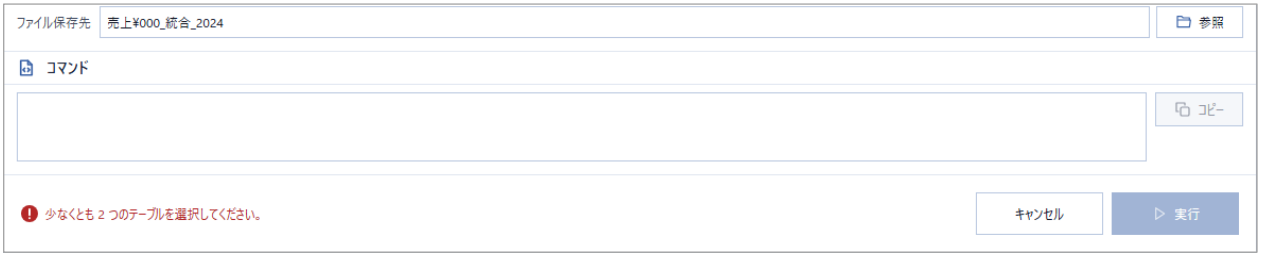
売上日	商品No	数量
2024/04/10	A01	4
2024/05/20	B02	3
2024/10/05	A01	2個
2024/11/18	C03	5個

※数値や日付は、表示されている値の文字になります（例：「1234.50」「2024/04/10」）。

※「各テーブルの全てのフィールドを文字型に変換」をオンにすると、すべてのフィールドが文字型になります。この場合、テーブルにないフィールドの値は「0」や「1900/01/01」ではなく、空欄になります。

◇入力内容に誤りがある場合

《実行》ボタンをクリックしたときに、テーブルが1つしか選択されていない、保存先が空欄などの誤りがあると、画面の左下にメッセージが表示され、該当する項目が赤枠で示されます。項目を修正するとメッセージは消え、《実行》ボタンが使用できるようになります。



© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■「統合できません」が表示された場合

同じ名前でデータ型や書式が異なるフィールドがあると、統合できません。実行すると次の画面が表示され、該当するフィールドが一覧で示されます。



27. データ型が異なるフィールド　　：同じ名前でデータ型が異なるフィールドと、テーブルごとのデータ型です。

28. 書式が異なるフィールド　　：同じ名前で日付の書式が異なるフィールドと、テーブルごとの書式です。

※《OK》ボタンで画面を閉じ、「フィールド名が同じで、データ型が異なる場合、文字型に変換」または「各テーブルの全てのフィールドを文字型に変換」をオンにしてから、もう一度実行してください。

◇操作ログ

APPEND "テーブル1" "テーブル2" ・・・ **TO** "保存先" **OPEN** **COMMONFIELDS** **ALLCHAR** **ASCHAR** **SOURCETABLE**

各キーワードの意味は、次のとおりです。

キーワード	内容	設定内容
APPEND "テーブル1" "テーブル2" ・・・	統合するテーブル。統合する順に記述します	10
TO "保存先"	統合したテーブルの名前（保存先）	15
OPEN	統合したテーブルを作成後に開きます	—
COMMONFIELDS	すべてのテーブルにあるフィールドだけを統合します	11
ALLCHAR	すべてのフィールドを文字型に変換します	13
ASCHAR	データ型が異なるフィールドを文字型に変換します	12
SOURCETABLE	先頭に「ソーステーブル」フィールドを追加します	14

※下線部（オプション）は、「◇設定内容」の11～14をオンにした場合に記述されます。画面から実行した場合は、常に上の順で記述されます。

※参照プロジェクトのテーブルは、「"プロジェクト名: テーブル名"」と記述されます。

© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.

■ コマンドを直接記述する場合（スクリプトなど）

※キーワードは、半角の大文字で記述します。「append」「aschar」のような小文字はエラーになります。

※テーブル名は、フォルダ名と拡張子（.hdf5）を付けずに「"」で囲んで記述します。

※オプションは「OPEN」の後に、任意の順序で記述します（「OPEN」より前はエラー）。

※テーブルと「TO "保存先"」は省略できません。

オプションの例

オプションの記述	統合の結果
（なし）	すべてのフィールドを統合します（「◇機能」の例）
OPEN COMMONFIELDS	「売上日」「商品No」「数量」だけを統合します
OPEN ASCHAR	データ型が異なる「数量」を文字型にして統合します
OPEN ALLCHAR	すべてのフィールドを文字型にして統合します
OPEN SOURCETABLE	先頭の「ソーステーブル」に「売上_上期」「売上_下期」が入ります
OPEN COMMONFIELDS SOURCETABLE	共通フィールドだけを統合し、先頭に「ソーステーブル」を追加します

※例は「◇統合の結果」と同じテーブル（売上_上期、売上_下期）です。

例

```
APPEND "売上_上期" "売上_下期" TO "売上¥売上_年間" OPEN
APPEND "売上_上期" "売上_下期" TO "売上¥売上_年間" OPEN ASCHAR SOURCETABLE
APPEND "売上_上期" "監査2023: 売上_2023" TO "売上¥売上_比較" OPEN COMMONFIELDS
```


© 2026 SanKei Biz Consulting, Corp.